



「ふるさと燕」を守ろう！

新型コロナウイルス感染症緊急対策

第3弾 ^{イレブン}11 ^{アゲイン}Again

^{アゲイン}再び11の対策を追加実施 **1.6 億円**

「フェニックス^{イレブン}11」 + 「第2弾 ^{ファイブ}プラス5」 + 「第3弾 ^{イレブン}11 ^{アゲイン}Again」
総額 10.8 億円

幾多の逆境を跳ね返し、その度に不死鳥のように蘇ってきた燕市。
新型コロナウイルス感染症に対しても、燕市独自の取組「フェニックス11+」を柱として、
社会経済状況による対策を切れ目なく実施することにより、子どもたちがいつでも帰って来られる「ふるさと燕」を守ります。

フェニックス11+

令和2年8月31日
新潟県燕市

1 燕市独自の新たな追加対策

本市では、新型コロナウイルス感染症への対策として、事業継続・雇用維持から需要喚起や生活弱者支援までを総合的に取り組む市独自の総合対策「フェニックス11（イレブン）」を実施しています。また、全世帯・事業所を対象に水道の基本料金を6か月減免する措置をはじめ「新しい生活様式」への対応と「経済活動の再開」に向けた対策第2弾「プラス5（ファイブ）」を追加実施してきました。

今回のフェニックス11の第3弾「11 Again（イレブン アゲイン）」では、感染症が多方面に影響を及ぼしている状況を踏まえ、これまで「フェニックス11+」の柱として展開してきた事業継続支援等に、交通事業者、廃棄物収集運搬事業者、農業者等への支援を加えるとともに、変化する生活環境におかれながらも頑張っている若者や学生を応援する対策など、再び「11」の対策を追加実施します。

また、これまで「フェニックス11+」では市民や市内企業に対して各種対策を講じてきましたが、一方で、市役所自身の感染症対策として収束後を見据えた体制をあらかじめ整えておくことも重要であることから、アフターコロナ時代のニューノーマル（新常態）を見据え、市役所業務の「オンライン化」「デジタル化」を推進し、行政サービスが、いつでも、どこでも利用できるデジタル市役所に向けて取組を進めてまいります。

感染症対策 第3弾【11 Again^{アゲイン}】の概要

■ 新たな対策の柱を追加

- ① 若者・学生を応援・・・帰省を自粛する大学生等、部活動などができなかった中学3年生、教育実習に来る学生を応援

■ これまでの対策の柱を強化・拡充

- ① 事業継続支援・・・利用者減に伴う交通事業、地域医療への支援、処分量増に伴う廃棄物収集事業への支援
- ② 経済活動の再開・・・燕市産農産物の販売促進、市内企業の海外販路開拓・感染症リスク管理支援
- ③ 新しい生活様式・・・保育・教育施設の感染防止対策

もう一つの対策【Another^{アナザー} フェニックス】の概要

- ① 市民サービスのデジタル化・・・オンライン相談・予約・申請の推進、電子図書館サービスの導入
- ② 市政情報のデジタル配信強化・・・デジタル動画を活用した市政の魅力的な情報発信

対策1 「ふるさと燕」大学生等応援事業 20,000千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経済的な面だけでなく、帰省できない、友人と会えないなど様々な不安やストレスを抱え、苦しい状況におかれながらも頑張っている大学生等の皆さんに対して応援物資とメッセージを届けるとともに、オンライン相談やオンラインインターンシップ等を実施し、学生生活を多角的にサポートします。

【対象者】 燕市出身の大学生等（大学、短期大学、大学院、高等専門学校（4・5学年）、専門学校生）

【内容】 ① 応援物資の送付とメッセージ動画の発信

親元を離れて暮らす大学生等へ「ふるさと燕」からの応援物資（新米、餅など）や恩師などからのメッセージ動画を届け、学生生活の継続を応援します。

（約1,400人に対して、計3回実施 予算額18,500千円）

② オンライン相談・座談会の実施

全ての大学生等を対象に、学業や就職、生活などについて気軽に相談できるオンライン窓口を設置するほか、互いに相談・情報共有できるオンライン座談会を開催し、学生たちの不安な気持ちを和らげます。

（相談事務手数料 予算額100千円）

③ オンラインインターンシップの実施

全ての大学生等を対象に、オンラインでのインターンシップを実施し、就職活動をサポートします。

（オンライン用資機材整備、事務手数料 予算額1,400千円）

【担当課】 地域振興課

対策2 中学3年生応援事業（フェニックス600） 7,000千円



新型コロナウイルス感染症の影響により通常の学校生活や部活動ができなかった市内中学校3年生を対象に、将来の夢や希望に繋げてもらうため、成果発表の場として交流大会等を実施するほか、スポーツや文化活動など各分野の一流講師を招聘し、講演会等を開催します。

- | | | | |
|------|------------------------------|-----------------|-------------------------|
| 【内容】 | ①市内中学3年生の部活動交流試合 | 【既決予算（実績を追加）】 | 6月に先行実施済 |
| | ②ビクトリークリニック・フェニックス600（希望者対象） | 【予算額：4,140千円】 | 9月以降実施予定 |
| | ③YumeCon 夢コンサート（希望者対象） | 【予算額：2,590千円】 | 9月以降実施予定 |
| | ④ハートフル演劇鑑賞会（全員対象） | 【既決予算額：4,505千円】 | 11月実施予定 |
| | ⑤フェニックス600 記念プレートの贈呈 | 【予算額：270千円】 | 贈呈式：8月31日 16:30～ |

【担当課】 学校教育課

対策3 実習生応援PCR検査費用助成事業 1,500千円



新型コロナウイルス感染症対策の学生向け応援事業として、燕市出身または燕市在住で燕市及び近郊において教育実習等に来る学生を対象に、民間検査機関が実施する唾液PCR検査にかかる費用を助成し、安心して実習に取り組めるよう支援します。

【内容】 唾液PCR検査費用助成金 15,000円×100人分

【実施時期】 8月から先行実施

【担当課】 学校教育課

対策4 市内公共交通運行委託事業者支援事業 4,000千円

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う外出自粛等により、売り上げが減少するなど影響を受けた公共交通委託事業者に対して支援金を支給し、今後の安定した事業の継続を支援します。

【内容】 昨年度と比較して減少した売り上げに対して支援金を支給します。（上限額50万円×8業務）

【対象】 市内公共交通運行委託事業者（スワロー号、やひこ号、おでかけきららん号）

【担当課】 生活環境課

対策5 交通事業者応援クーポン 30,000千円

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、利用者が減少している市内タクシー事業者等を応援するため、乗車券を広報媒体に掲載して全世帯に配布します。

【内容】 500円クーポンの4枚綴りを全世帯に配布（1乗車につき1枚使用可能）

【利用期間】 配布後～令和3年2月末

※配布は準備が整い次第実施

【利用場所】 燕応援フェニックスクーポン使用可能店舗として登録されたタクシー、代行事業者等

【担当課】 生活環境課

対策6 廃棄物収集運搬委託事業者支援事業 4,000千円

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う外出自粛等により、昨年度と比較して大幅にごみが増えるなど、負担が増加している一般廃棄物収集運搬委託業者に対して支援金を支給します。

【内容】 廃棄物処理に係る負担増加分に対して支援金を支給します。（約65万円×6事業者）

【対象】 市内一般廃棄物収集運搬委託事業者

【担当課】 生活環境課

対策7 西蒲原地区休日夜間急患センター支援事業 7,100千円

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う外出自粛等により、昨年度と比較して受診者数が減少している西蒲原地区休日夜間急患センターの安定した事業の継続を支援します。

【内容】 西蒲原福祉事務組合の構成団体である新潟市・燕市・弥彦村が人口割によって負担金を支出します。

【担当課】 健康づくり課

対策8 インターネットを活用した海外販路開拓事業 20,000千円

新型コロナウイルス感染症の影響で海外販路開拓の機会が失われているため、今後主流となるインターネットを活用した海外企業等とのオンライン商談会開催のほか、海外の有力ECモール出店に向けた仕組みを構築し、市内企業の海外販路開拓を支援します。

- 【内容】 市内企業と海外企業、バイヤーとのオンライン商談会の開催、
市内企業の海外有力ECモールへの出店支援
- 【実施主体】 燕三条地場産業振興センター
- 【担当課】 商工振興課

対策9 つばめ“食べて”応援キャンペーン事業 5,000千円

農産物販売先の休業等による出荷停止や燕市農業まつりの中止など、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている農業者を支援するため、燕市産農産物の販売促進キャンペーンを実施します。

- 【内容】 燕市の農家が生産した「米」、「野菜」、「果樹」、「花き」、「豚肉」などの対象商品を購入して応募用シールを集めると、市内の農産物などの景品が当たるプレゼントキャンペーン
- 【景品】 燕市産農産物（飛燕舞、ルレクチェ、豚肉）各100人 エコバック 1,000人
- 【対象店舗】 市内で燕市産の農産物を販売する直売所・小売店舗等
- 【対象期間】 10月1日（木）から11月30日（月）まで
- 【実施主体】 燕市農業まつり推進協議会
- 【担当課】 農政課

経済活動の再開と利用促進を支援するための取組

対策10 市内企業感染症リスク管理支援事業 10,000千円

新型コロナ緊急対策 第3弾

先行補正!

新型コロナウイルス感染症への感染防止対策と社会経済活動の両立に向け、県外との往来を伴う事業活動等を行う市内事業者に対し、民間検査機関が実施する唾液PCR検査にかかる費用の一部を補助することで感染症へのリスク管理を支援します。

【内容】 市内企業感染症リスク管理支援事業補助金 (8,000円×1,250検体)

【実施時期】 8月から先行実施

【担当課】 商工振興課

「新しい生活様式」に対応するための対策 47,400千円

対策11 保育・教育施設手洗い設備改善事業 47,400千円

「新しい生活様式」の実践による新型コロナウイルスの感染防止対策として、小中学校や保育園等で生徒や児童が手洗いをする際、手洗い後にできるだけ蛇口の取っ手に触れないようハンドル式をレバー式に変更するとともに、冬期間の手洗い実践に備えて温水設備のない小学校、保育園等に温水器を整備することで、生徒や児童の感染リスクを軽減し、安心・安全な環境づくりを推進します。

【内容】 ハンドル式蛇口からレバー式蛇口への交換：全小中学校、全児童クラブ等
温水器の設置：全小学校1・2年生及び特別支援学級のフロア、
保育園等12か所、児童クラブ等12か所

【担当課】 学校教育課・子育て支援課

フェニックス11とプラス5の対策強化

新型コロナウイルス感染症緊急対策「フェニックス11」及び第2弾「プラス5」の執行状況等を踏まえ、対策をさらに強化するため、補正予算第6号、補正予算第7号及び補正予算第8号に補正予算を計上しました。

- 【補正予算第6号】 中小企業者土地・建物賃借料 20,000千円
新商品新技術開発支援事業 12,000千円
- 【補正予算第7号】 中小企業金融対策費 30,000千円
オンライン営業推進支援事業 70,050千円
中小企業者感染症対策施設整備費補助事業 100,100千円
雇用継続支援事業※ ▲153,000千円
- 【補正予算第8号】 中小企業者土地・建物賃借料 2,000千円

(※) 国の第2次補正予算において雇用調整助成金の制度拡充が図られたことに伴い、事業者負担が生じないこととなったため、フェニックス11【対策2】の雇用調整助成金への上乗せ支援を廃止しました。

国による感染症緊急経済対策の燕市の対応 (報道資料No. 3参照)

令和3年度固定資産税の軽減の特例制度

軽減特例制度の概要

軽減要件に該当する中小事業者等に対して、令和3年度の償却資産及び事業用家屋に係る固定資産税を軽減

<軽減要件および額>

事業収入が ①30%以上50%未満減少している事業者等・・・2分の1 ②50%以上減少している事業者等・・・全額

市の支援策

特例制度の周知を徹底し、円滑に制度を利用できるよう中小事業者等を支援します！！

- ①制度の周知・・・**制度説明会を開催**、周知チラシの配布等
- ②申告の支援・・・軽減対象資産の把握を容易にするため、**固定資産税の名寄帳(課税台帳)を無料交付**し、申告の負担を軽減

(※無料交付期間：令和2年10月1日～12月30日)

商工会議所、税理士等と連携し、**申告書の作成・相談などの協力体制を確立**

対策の財源措置について

「フェニックス11」、第2弾「プラス5」及び第3弾の追加対策「**11 Again**」を実行するため、次の財源を活用します。

■ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

第一次配分額 2億7,062万円

第二次配分額 7億5,780万5千円

合計 **10億2,842万5千円**

■ 市内事業所等からの寄附金

(市内飲食店支援・雇用維持対策等)

これまでに「フェニックス11+」に対する寄附として、
5団体・60社・3人からご寄附をいただきました。

◆寄附額合計 **2,991万6千円**

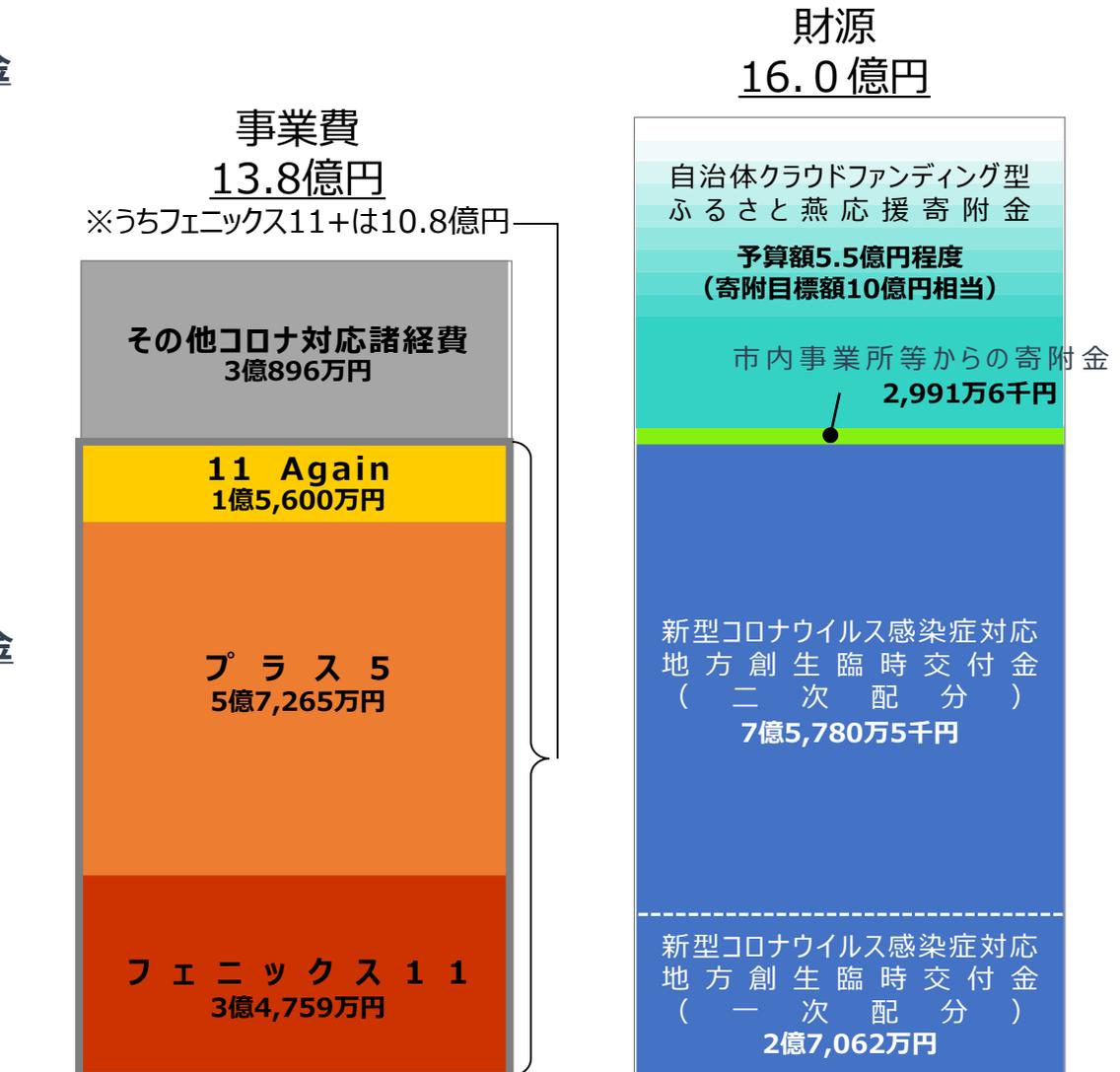
■ 自治体クラウドファンディング型ふるさと燕応援寄附金

◆寄附目標額 10億円

(対策の予算規模**5.5億円**を実質的に確保)

◆8月28日現在申し込み

4億3,211万8千円 (10,408件)



新型コロナウイルス感染症が収束した後の「アフターコロナ」時代は、人と人の距離を保つライフスタイルや、職場に行かずに仕事をする職住近接のワークスタイルがニューノーマル（新常态）になると考えられることから、自宅や会社のパソコン、スマートフォンからオンラインで申請できたり、家にいながら子育て相談ができたり、行政サービスが、いつでも、どこからでも利用できるデジタル市役所に向けて取り組んでまいります。

想定されるニューノーマル

予防・衛生を意識したライフスタイル

・非対面・非接触環境の整備

職住近接のワークスタイル

・在宅勤務、在宅時間の増加

ネットに依存する社会

・重要視される動画、SNS情報

キャッシュレス社会

・スマホ決済の普及

デジタル市役所に向けた方向性

行政のDX（Digital Transformation）推進

市民サービスのデジタル化

・オンライン相談
・オンライン申請
・オンライン予約
・オンラインコンビニ交付
・AIによる問い合わせ対応
・キャッシュレス決済

市政情報のデジタル配信強化

・デジタル動画、SNSによる
市政情報の配信

9月補正により開始する取組

① オンライン相談の環境整備 657千円 【総務課】

在宅でも相談が受けられる体制を整備するため、相談業務のオンライン化にかかるWEB環境整備に必要な経費を計上します。

・オンラインシステム使用料、オンラインシステム導入備品購入費（マイク、カメラ）

② オンライン手話通訳の導入 554千円 【社会福祉課】

聴覚障がい者と手話通訳者との手話通訳をオンラインで行える環境を整備するための経費を計上します。

・印刷製本費、備品購入費（タブレット、ブックタイプカバー等）

③ 市民課窓口のオンライン予約の導入 420千円 【市民課】

パスポート申請等に係る待ち時間の短縮など、市民サービス向上を図るため、市民課窓口のオンライン予約システム導入のための経費を計上します。

・窓口予約システム使用料

④ 健康診査等予約システムの構築 12,000千円 先行補正 【健康づくり課】

健康診査や各種がん検診の健（検）診日をWeb上で予約可能とするため、健康診査等予約システムの構築に必要な経費を計上します。

・予約システム構築業務委託料

⑤ 電子図書館サービスの導入 5,237千円 【社会教育課】

図書館に行かなくても図書を借りられる電子図書館サービス導入のための経費を計上します。

・消耗品費（無線ルータ、OAタップ等）、電子図書館導入業務委託料、備品購入費（館内貸出用タブレット）

⑥ 動画を活用した情報発信 ゼロ予算 【全庁的】

YouTube動画等を活用して市政の魅力的な情報発信を行います。